

製品名: TBX15/18 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18701**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	64kDa

抗原情報

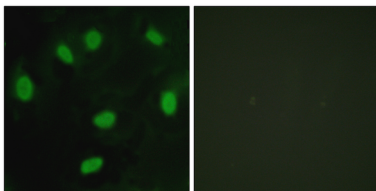
遺伝子名	TBX15/TBX18
別名	TBX18; T-box transcription factor TBX18; T-box protein 18; TBX15; TBX14; T-box transcription factor TBX15; T-box protein 15; T-box transcription factor TBX14; T-box protein 14
遺伝子 ID	9096.0
SwissProt ID	O95935/Q96SF7
免疫原	抗血清はヒト TBX15/18 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

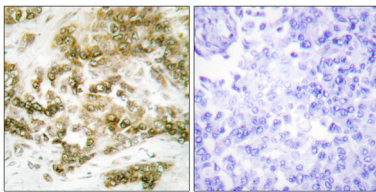
T-box 18(TBX18) ホモサピエンス この遺伝子は、胚発生において重要な役割を果たす、進化的に保存された転写因子ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーは DNA 結合 T-box ドメインの存在を特徴とし、このドメインの配列保存性に基づいて 5 つのサブファミリーに分類されます。コードされているタンパク質は、脊椎動物特異的な Tbx1 サブファミリーに属します。このタンパク質は、T-box ファミリーの転写活性化因子に拮抗することで転写抑制因子として作用します。このタンパク質は、T-box ファミリーの他の転写因子、あるいは他の転写因子とホモ二量体またはヘテロ二量体を形成します。[RefSeq 提供、2012 年 11 月]機能: 発生過程に関与する転写調節因子と考えられる。類似性: T-box DNA 結合ドメインを 1 つ含む。

研究分野

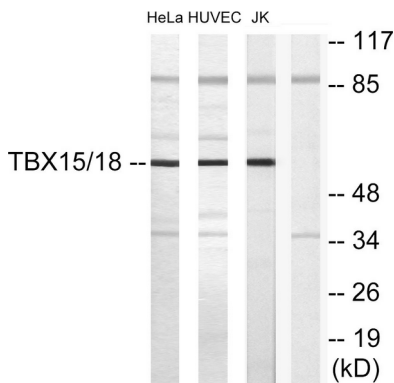
画像データ



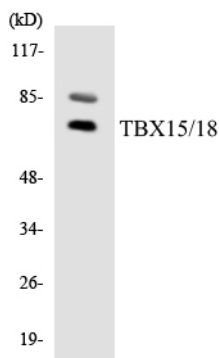
TBX15/18 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



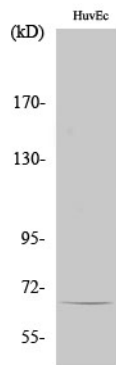
TBX15/18 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TBX15/18 抗体を用いた HUVEC、HeLa 細胞、Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TBX15/18 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TBX15/18 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。